

条幅部自由参考

5月25日正午必着

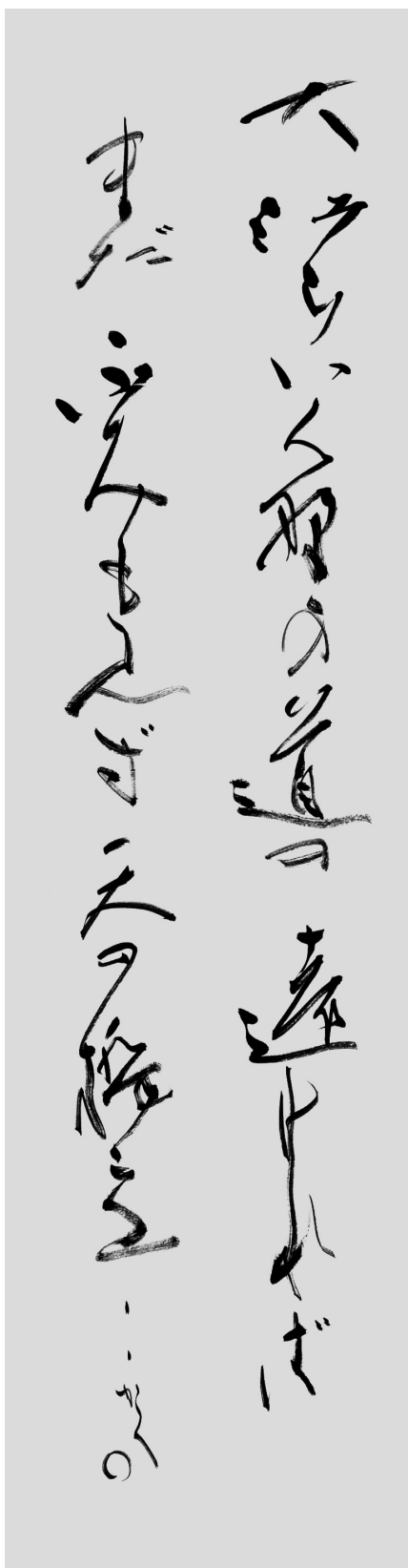
明石春浦先生書



春光しゅんこう一いっ半はん歸かへり楊柳ようりゅう花事かじ三分さんぶん屬あつ海棠たいよう (徐集孫)

春色の一半は楊柳の占むるところとなつてゐるが、花はその三分の一は海棠によつて占められるであらう。

菅井松雲先生書



大江山いく野の道の遠ければ まだふみも見ず 天あまの橋立 (小式部内侍)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

荀老蘭長（白居易）

碧水忽開新鏡面
青山都是好屏風

（史蕭）

瀑布寺貞上人院（鄭巢）

林疎多暮蟬 師去宿山煙
古壁燈熏畫 秋琴雨慢弦
竹間窺遠鶴 巖上取寒泉
西嶽沙房在 歸期更幾年

瀑布寺の貞上人が院 鄭巢

林は疎にして 暮蟬多し 師去りて 山煙に宿す
古壁 灯 画を熏じ 秋琴 雨 弦を慢くす
竹間に 遠鶴を窺い 巖上に 寒泉を取る
西嶽 沙房在り 帰期 更に幾の年ぞ

松明をさしかがやかしわが渡る 早瀬の小魚 雨降ることし

（若山 牧水）

荀老いて蘭長ず

碧水忽ち開く新鏡の面
青山都是れ好屏風。

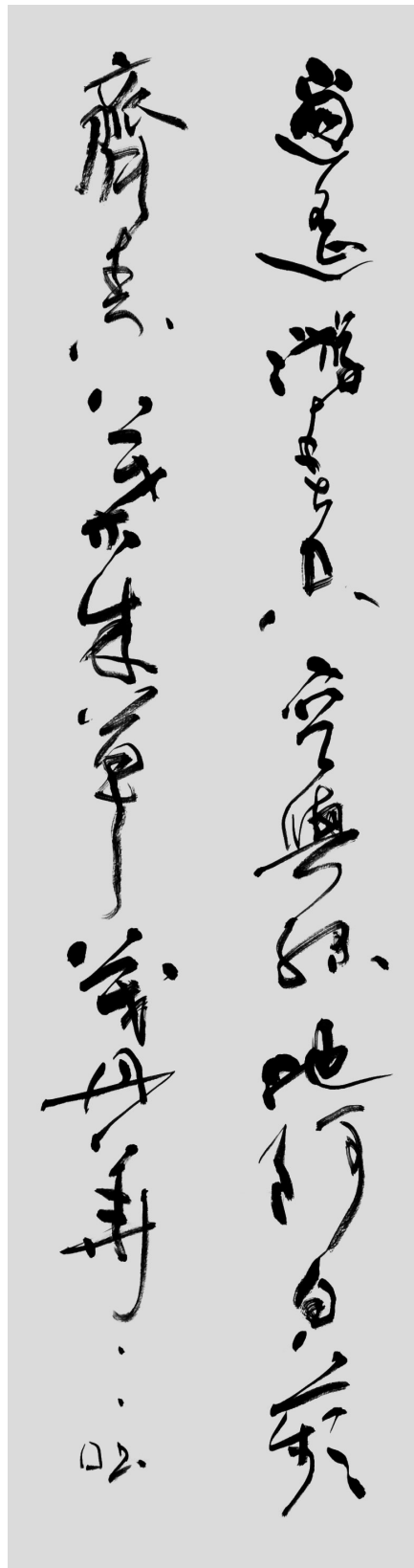
たけのこも漸くのび蘭も香を放つ

碧水はみがき立ての鏡のように眼前にひらけ、青々とした山々はさながら屏風を引きまわしたよう。

逍遙遊春空
白蘋齊素葉

容與綠池阿
朱草茂丹華

のんびりと気ままに春空の下に遊び、ゆっくりと緑なす池のくまをあゆむ。白い花のうき草は白い葉と揃って咲き、朱い草には丹い花が茂っている。



明石幸子書

半紙部規定課題A

5月25日正午必着

鳴南
珂陌
共

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月25日正午必着

行書

南陌共鳴珂

隸書

南陌共鳴珂

明石春浦先生書

草書

南陌共鳴珂

行草書

南陌共鳴珂

建礼門のほとり、さわやかな秋の夜 承明廬に夜明けを待ちつつ過す
 九重の門の奥にひやかな漏刻の音も尽き 市街の処々より、暁の鐘があまた鳴り響く
 月の光ははるかに、真珠のような星をおおいかくし 雲は消え去って、天の川があらわれる
 いまさらながら慚ずかしく思う、この老い衰えた身を以て 南の街路に、貴方と玉飾りを鳴らしつつ駒を並べて行くのが

與崔員外秋直

王維

建禮 高秋夜

承明 候曉過

九門 寒漏徹

萬井 曙鐘多

月迴 藏珠斗

雲銷 出絳河

更慚 衰朽質

南陌 共鳴珂

崔員外と秋に直す

王維

建礼 高秋の夜

承明に 暁を候ちて過ぐ

九門 寒漏徹し

萬井 曙鐘多し

月迴かにして 珠斗を蔵し

雲銷えて 絳河出す

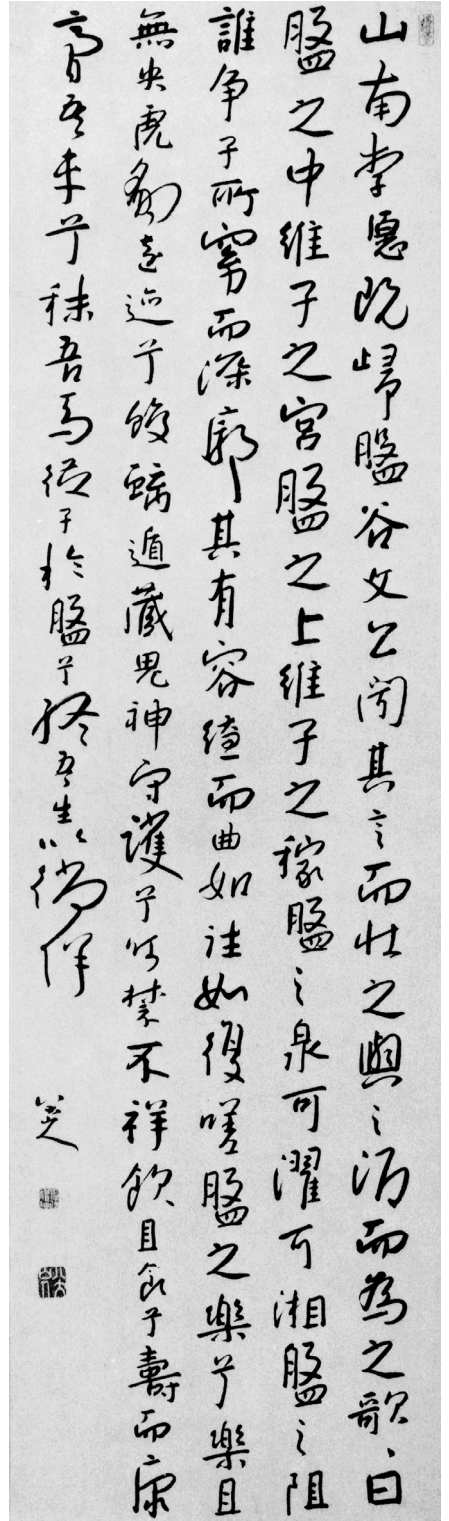
更に慚ず 衰朽の質の

南陌に 共に珂を鳴らすことを

(出典)

朝日新聞社刊

「三体詩」下より



山南李愿。既歸盤谷。文公聞其言而壯之。與之酒而爲之歌曰。盤之中。維子之宮。盤之上。維子之稼。盤之泉。可濯可湘。盤之阻。誰爭子所。窈而深。廓其有容。繚而曲。如往如復。嗟盤之樂兮。樂且無央。虎豹遠跡兮。蛟螭遁藏。鬼神守護兮。何禁不祥。飲且食兮。壽而康。膏吾車兮。秣吾馬。從子於盤兮。終吾生以徜徉。八大山人。

西 墨濤先生臨書



守護

明末清初 八大山人・盤谷歌

八大山人(明の天啓五年、一六二五?~清の康熙四十四年、一七〇五?)は、明代末期から清代初期の書家、画家、詩人で、名は朱耷、字は雪個。他に何園・人屋・書年・個山驢などと号した。明の王族の出身で、官吏を目指したが、明の滅亡により仏門に入り、修行に励んだ。後に多くの弟子を得たが、警戒されて軟禁状態にされた。軟禁状態を逃れた後に野に下り一庶民となり、数少ない友人と酒を飲み、書を書き、絵を描く生活を送った。書画に高い評価を得たが、それで富を蓄えるようなことはせずに貧窮の生涯を送ったようである。

八大山人の号は、四文字を二文字ずつ潰し気味に書き、笑之(これをわらい)哭之(これをこくす)と読ませて清朝の世の厭世感を表したという説がある。

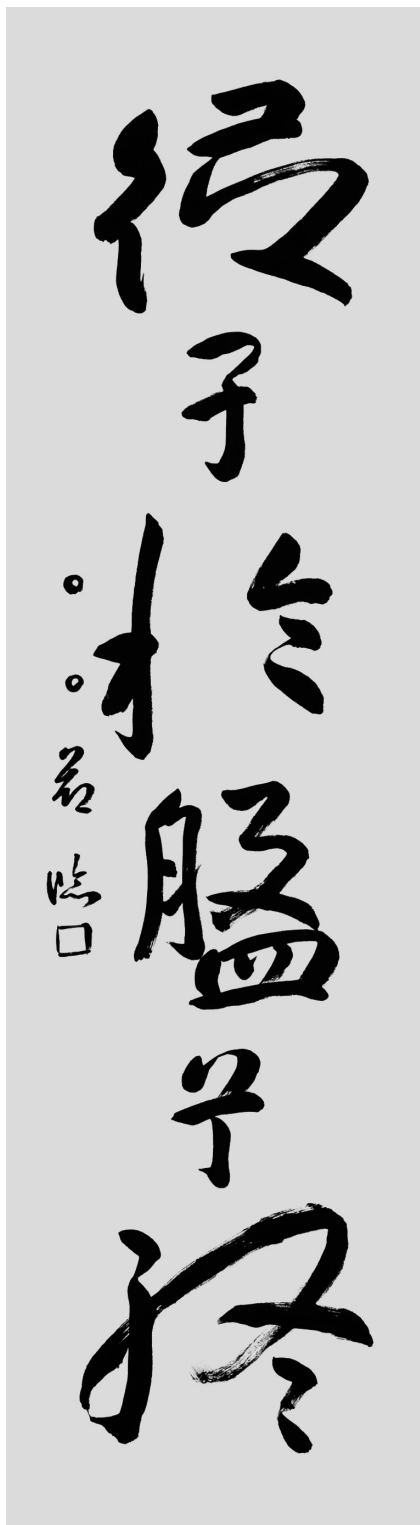
八大山人の書は泰然自若、あるいは天真爛漫ともいうべきか、実におおらかな様相を呈しているといわれる。穂先のちぎれたような硬い毛の筆を用いたのか、点画にあまり太細の変化がなく、決して技巧に走ることなく筆に任せて淡々と書き進めているようである。この個性的な一種独特な雰囲気味わいたい。(春濤)



臨野水看浮雲 (王世懋) 野辺の流れのほとりで浮雲をながめる。

△做書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



從子於盤兮終 (吾生以徜徉)

5月25日正午必着

教育部毛筆



ほう
報

どう
道

中学一年

雨宮春聲先生書



よこ
横

づな
綱

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

か
科

がく
学

小学五年



藤井良泰先生書

わ
和

か
歌

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着



う
売

る

小学三年

藤田幸春先生書



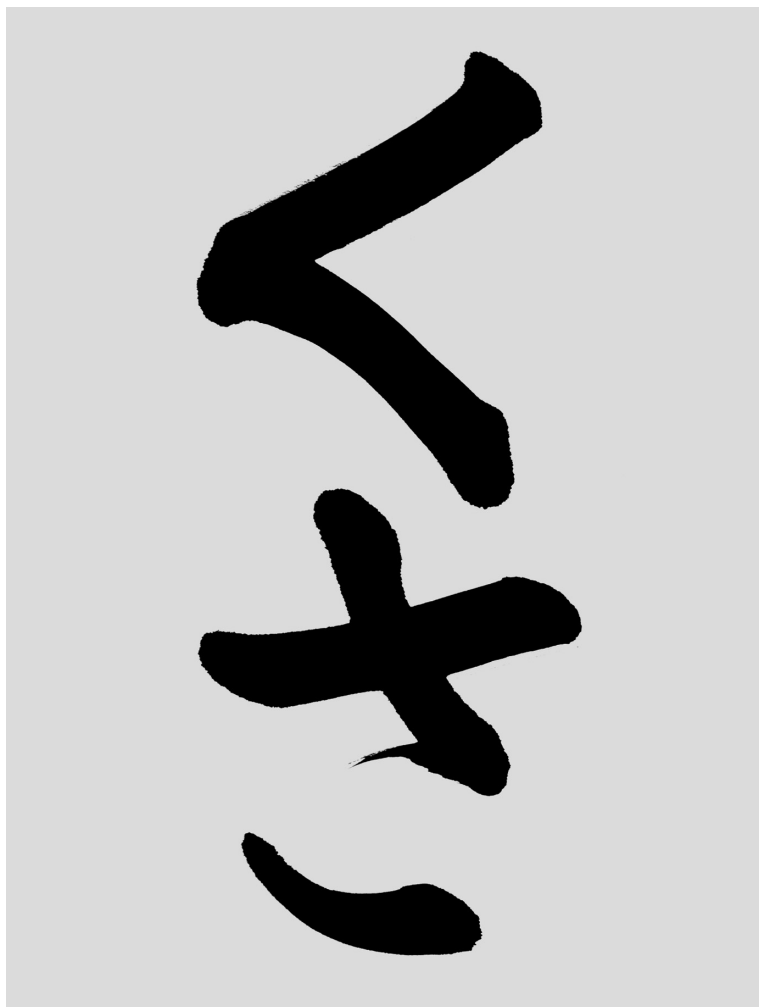
せい
生

かつ
活

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

く さ 小学一年・幼年



森戸春濤書

五 つ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

われれた田畑の風景
いち面みどりにおお

小学五年

おべんとうを食べた
後三十分休息をした

小学六年

情景や心情などを自分
の心の中に作り出す

中学

眞実はたくさんの言
葉を必要としない

一般(級位)

五月待つ花橘の香をかげば昔の人の袖の香ぞする
げば昔の人の袖の香ぞする

五月待つ花橘の香をかげば昔の人の袖の香ぞする(読人しらす)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ぐ	げ
ん	き
こ	に
い	の
ぼ	お
り	よ

幼年

り	さ
が	る
じ	は
よ	
う	木
ず	の
だ	ぼ

小学一年

う	に
ぎ	ん
形	じ
に	ん
切	を
る	
	お

小学二年

な	ち
き	か
声	く
が	で
す	子
る	犬
	の

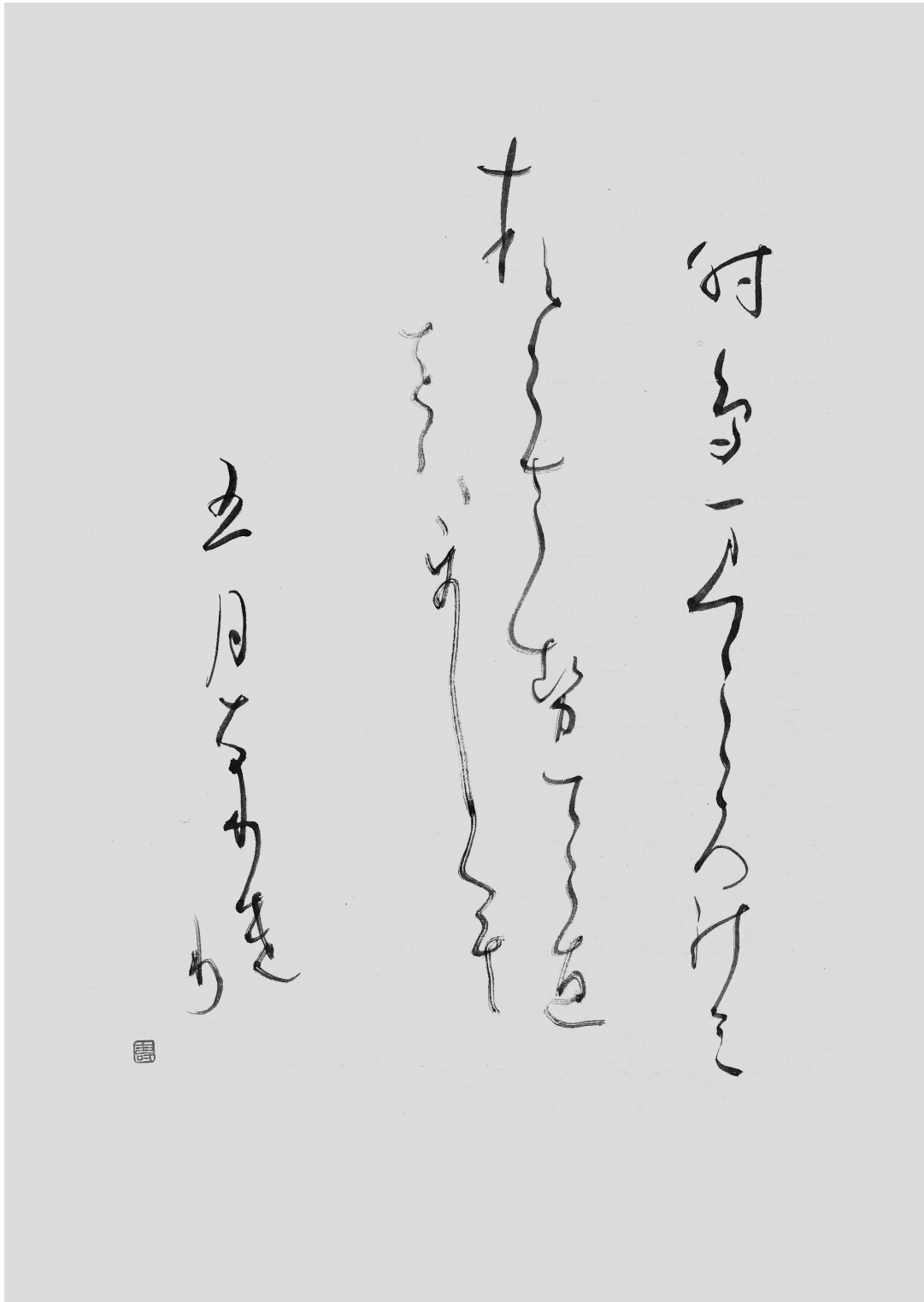
小学三年

気	湖
持	上
ち	を
よ	わ
か	た
っ	る
た	風
	が

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

時鳥ほろひのう
 万まつつここゝゝろろののみみ
 能の三の都のつつくくささせせててここゑゑををばばおおししむむ
 八や乎の牟の五月さつきなりなりけけりり
 奈な利り遣や利り
 (西行法師)